

聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和6年11月30日(土)13時30分～15時	会場	名張市民センター
相手方名	名張地区まちづくり協議会	参加人数	8人
出席議員	川合滋、富田真由美、坂本直司、木平秀喜、三原淳子		
	質問・意見	懇談会等での返答	対応
1	産科が市立病院にできたらいいが、財政問題などですぐにはできないだろう。	市立病院での産科開設は以前検討していたが、医師確保が困難で遅れていた。その後、市立病院在り方検討委員会からは、産科開設は厳しいとの答申が出た。独立行政法人の中期目標案へのパブリックコメントなどに意見を出してはどうか。	■当日の返答どおり
2	名張市立病院に産科があったらいいけれど、すぐにはできないだろうから、今ある民間病院が頑張してほしい。	かつて市内には5つの産科医院があった。それが伊賀・名張地域で一つの病院だけになる。その病院だけでは伊賀・名張地域の分娩は担いきれないだろう。今ある市内の民間の産科医療機関と行政も話し合っている。	■当日の返答どおり
3	出産する年代の人口が減っている。産科医院の採算がとれないからやめるのだろう。問題は出産をする人や結婚、妊娠をしない人が増えていることではないか。この対策が必要だ。	少子化の影響は産科医院がなくなるということだけではない。結婚、子育てを希望する人が実現できるような体制を整えることが大事だ。	■当日の返答どおり
4	名張幼稚園が民間園になった。公的保育を維持してほしいと請願をあげた。開園して問題は無かったか。障害児の受け入れはできているか報告がない。民間の組織の中だけでしか共有されていないのではないか。	名張市の教育・保育理念に基づき、計画・実施内容を引き継ぐことについて「設置運営移管に関する協定書」「引継ぎに関する覚書」を規定している。請願の内容を引継ぎ項目に含め、円滑に進めるため市の保育士2名を1年間従事させ市と緊密な連携体制を整えている。	■当日の返答どおり
5	市財政が厳しいと言っているが、名張川堤防に遊歩道はできるのか。国に費用を出してくれるように交渉してほしい。南町、朝日町は一部立ち退きもした。このまま金が無いので堤防だけというのは困る。人が集まるようにしてほしい。	かわまちづくりのところにはまだ予算がついていないので、要望を伝える。	■行政側に伝える
6	都市振興税の説明会で、なぜ固定資産にかけるのかと聞いたら、計算がしやすいからと答えがあった。増税やむなしの時は、市民が納得できるものにしてほしい。	企業や名張に土地を持つ市外在住の人からも負担をいただくことで、できるだけ市民の負担が大きくなりたくないよう、固定資産税にかけたと考えている。	■当日の返答どおり
7	(意見・要望等) 合併しない罰をいつまでもするなと国に言ってほしい。		

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
8	(意見・要望等) 丸之内の土地(旧老人福祉センター跡)は名張市のものだ。立地適正化計画で居住誘導地域から外された。丸之内の土地の活用についてはしっかりと意識を持ってほしい。		■行政側に伝える
9	(意見・要望等) 高岩井堰から城下川の雨量が増えてきた。川だけでなく、道路についても長期計画を出してほしい。サンロードはアーケードがなくなり、車が通って危ない。		■行政側に伝える
10	(意見・要望等) 地域づくり組織が始まって20年になる。地域への予算配分の見直しをしてほしい。		■行政側に伝える

議会からの返答は令和6年11月30日時点のものになります。